

# サーフライフセービングとは

安全な海辺の環境を保つために、大きな役割を果たしているサーフライフセービング。その活動は、ビーチでのパトロールから学校教育まで多岐に渡っています。ここでは、私たちにとって最も馴染みのあるパトロール活動について紹介していきます。

## 監視 Observation

パトロールのキャプテンは、水中および浜辺での危険性を正しく認識し、どこに警告サインや救命具を設置するかを決定する。特に、ライフセーバーは、人が多く集中している場所には細心の注意を払い、何かあった場合にはすぐに動けるようにする。また遊泳者の典型的な行動パターンから事故を

未然に予測し、救助に至らないようにすることも大切なこととなっている。オーストラリア全体では、300以上のビーチがパトロールされており、西オーストラリア州ではボランティアが10月～3月までの週末、その他の期間はライフガード（※P9コラム参照）によるパトロールが行なわれている。

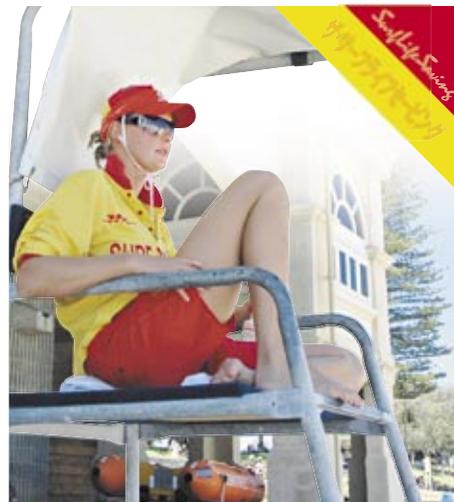


Photo courtesy of Surf Life Saving WA

## 事故防止活動 Preventative action

サーフライフセービングでは、救助をすることよりも事故を未然に防ぐことが最も重要とされている。そのため、遊泳者がそれぞれに指定されたエリアにいるかどうかを確認することが基本となる（例えば、

サーファーはサーフィンエリア、遊泳者は赤と黄色のフラッグの間など）。またその日の海のコンディションについてアドバイスを行なうほか、ビーチのゴミを拾うなどで思わぬケガから遊泳者を守っている。

## 救助 Rescue

溺者や自分自身を更なる危険にさらさないため、ライフセーバーは終始落ち着いて、正しい判断を下さなければならない。常に危険度を認識し、救助の方法を見極めるために、ライフセーバーは海のコンディ

ション、被救助者の状態、使用可能な道具、救助に参加できる人員を確認することが必須となっている。また救助後は必要に応じて救急処置、蘇生処置などを行なう。

## 成果

オーストラリアでは毎年およそ10,000人が救助され、25,000人が救急処置を受けている。また事故を未然に防ぐために、150,000人以上に安全のためのアドバイスを行なっている。2005～2006年の昨シーズンは、10,775人の救助、38,309人の救急処置、295,055件

の事故防止活動が行なわれ、死亡者は62人であった。もしオーストラリアにライフセーバーがいなければ、毎年500人以上が海辺の事故で死亡するだろうと言われている。

Information courtesy of Surf Life Saving Australia